

命の尊さを伝える本（令和4年）

4月のおすすめ本

○「もしも一年後、この世にいないとしたら。」

清水研／作 文響社

おすすめコメント：

がん患者専門の精神科医が彼等との対話を通して伝えたい生き方とは。死を目前にした人間の強さに感動し、今を大切にしようと思わされます。

（平塚市の図書館にあります。中央図書館）

○「絆」

武田双雲／作 ダイヤモンド社

おすすめコメント：

生きているかのような書が語りかけてきます。数々の言霊に心が暖まり、希望をみいだせる一冊です。

（平塚市の図書館にあります。中央図書館）

5月のおすすめ本

○「おこる」

中川ひろたか／作 長谷川義史／絵 金の星社

おすすめコメント：

子供自身がおこられるような身近な経験から、戦争に至るまで。争いごとの火種は心の中にある。大型絵本もあります。

（平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館）

○「あなたのすてきなところはね」

玉置永吉／作 えがしらみちこ／絵 角川書店

おすすめコメント：

春夏秋冬、幼子に感じる素敵なおとこころ。「あなたのすてきなところはね」がことばのお守りになります。優しい絵からにじみ出ています。（平塚市の図書館にあります。南図書館）

6月のおすすめ本

○「ぼくがあかちゃんだったとき」

浜田桂子／作 教育画劇

おすすめコメント:

「ぼく」の6歳の誕生日、お父さんが「ぼく」を膝に乗せて赤ちゃんだった時の話をしてくれます。

こんなに大切に見守られて育ってきたんだと、一つ一つの言葉にお父さんの愛情を感じます。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西図書館)

○「むらをすくったかえる」

サトシン／作 塚本やすし／絵 ディスカヴァー・トゥエンティワン

おすすめコメント:

人間と仲良くなりたいかえると、かえるを嫌う人間が、深い意味を持つかえるのうたによって心が通じ合うのですが…。読むたびじ～んとしています。

(平塚市の図書館にあります。あおぞら号)

7月のおすすめ本

○「チュウとチイのあおいやねのひみつきち」

たかお ゆうこ／作 福音館書店

おすすめコメント:

どこにしようか、どんな風にしようか、次はいつ行こうか、ワクワクが止まらない秘密基地。今も昔も、大人も子供も、夢中になれる秘密基地での楽しい時間を思い出したり、子供と共有してみたり、作ってみたり?

(平塚市の図書館にあります。北図書館)

○「よっ、おとこまえ!」

いがらし あつし／作・絵 絵本塾出版

おすすめコメント:

三種三様のトウモロコシ。トウモロコシなのに、互いを励まし讃え合う姿に熱い友情と青春が見えたりして…!?

(平塚市の図書館にあります。南図書館)

8月のおすすめ本

○「せきれい丸」

たじま ゆきひこ、きどうち よしみ／作 くもん出版

おすすめコメント:

戦後間もない時に起こった沈没事故を元に創作されたお話です。死を乗り越えて力強く生きる少年の姿に胸を打たれる一冊です。

(平塚市の図書館にあります。南図書館)

○「ラチとらいおん」

マレーク・ベロニカ／作・絵 福音館書店

おすすめコメント:

なんでも怖がる弱虫のラチくんが、本から飛び出した小さなライオンに勇気を貰いながら、“脱弱虫”で成長していくお話で、勇気を貰える本です。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

9月のおすすめ本

○「今を生きるあなたへ」

瀬戸内寂聴、瀬尾まなほ／作 SBクリエイティブ

おすすめコメント:

:昨年 99 歳で逝去された瀬戸内寂聴さんの言葉は人生の縮図です。

「和顔施」…笑顔があるところは必ずいいことが起こり不幸は逃げます。

(平塚市の図書館にあります。中央、西図書館)

○「がろあむし」

たての ひろし／作・絵 偕成社

おすすめコメント:

地面に潜む小さな虫の大きな一生を、緻密な絵で描いた壮大な絵本です。

(平塚市の図書館にあります。西、南図書館)

10月のおすすめ本

○「おすしやさんにいらっしやい!」

おかだだいすけ／作、遠藤宏／写真 岩崎書店

おすすめコメント:

目の前で魚をさばいているのを見ている気持ちになります!

「イカは、あたまからうでがはえている?」と観察し、それを食べることは、生きものの命をいただいていることを意識する良い機会になると思います。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

○「たいせつなこと」

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作、レナード・ワイズガード／絵、うちだややこ／訳
フレーベル館

おすすめコメント:

「あなたはあなたのままでいいんだよ。」そんなメッセージが込められた本です。

自分に自信がなくなったときに、そっと寄り添ってくれるような作品だと思います。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

11月のおすすめ本

○「サイレント・ブレス 一看取りのカルテ」

南杏子／作 幻冬舎文庫

おすすめコメント:

病気の話で重いのですが、人間が最後まで懸命に生きる姿や、周りの苦しみながら何とか患者さんに寄り添おうとする人達の心に迫りました。

(平塚市の図書館にあります。中央)

○「しんできた」

谷川俊太郎／作、塚本やすし／絵
佼成出版社

おすすめコメント:

ひとは誰でも食べずには生きていけない、忘れがちな当たり前のことを思い出させてくれます。

だからこそ、その分も大切に生きたい。衝撃的なタイトルですが、最後のページでグッと励まされます。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、南図書館)

12月のおすすめ本

○「こんな日だってあるさ」

パトリシア・ライリイ・ギフ／作、スザンナ・ナティ／絵、あきのしょういちろう／訳 童話館出版

おすすめコメント：

しくじってばかりいる小学生の男の子が主人公。この日は 1 日に 10 回もへまをしてしまいます。帰りに先生からお手紙をもらいます。

男の子は失敗を責められるだけでなく、明日をよりよくするように励まされます。

(平塚市の図書館にあります。西図書館)

○「アザラシの赤ちゃん ーかわいいヒミツ」

小原玲／作 講談社

おすすめコメント：

元報道写真家だった著者が、時に人を傷つけたり消費される写真に嫌気がさし、辿り着いたのが動物写真。ただただ可愛くて、疲れた心が癒やされます。

(平塚市の図書館にあります。あおぞら号)

1 月のおすすめ本

○「あかちゃんのゆりかご」

レベッカ・ボンド／著、さくまゆみこ／絵

偕成社

おすすめコメント：

あかちゃんが生まれ、お家にやってくる喜びあふれるお話です。

(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館)

○「かさをささないシランさん」

谷川俊太郎／著、いせひでこ／絵

理論社

おすすめコメント：

「かさをささない」それだけの違いで理不尽な状況に追い込まれるシランさん。あなたも無関心を決め込みますか？

(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館)

2月のおすすめ本

○「心ってどこにあるのでしょうか？」

こんのひとみ／著、いもとようこ／絵

金の星社

おすすめコメント：

好きな人に会うとほっぺが真っ赤になった。心はほっぺにあるのでしょうか…。

こんのひとみ&いもとようこコンビがあたたかい文と絵でおくる絵本。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館、あおぞら号)

○「あかちゃんがわらうから」

おーなり由子／著、絵

理論社

おすすめコメント：

数年前この絵本を初めて知った時、自分の子どもたちが小さかった頃の少し辛かった時もあった子育て時代を思い出しました。その時にこの絵本を手にとることがあったら勇気づけられたのでは…。今はこの絵本を小さな子どもを持つママさんにプレゼントすることもあります。

(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館)

3月のおすすめ本

○「なぞかけどうじょう」

中川ひろたか／作、大島妙子／絵

金の星社

おすすめコメント：

「何とかけて何と解く、その心は？」江戸時代から楽しんだ日本の言葉遊び“なぞかけ”。

親子や友達とクイズに挑戦してみない？一人で楽しむときはクスツとしてしまうので要注意かも!?

(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館、あおぞら号)

○「じごくのラーメンや」

荻田澄子／作、西村繁男／絵

教育画劇

おすすめコメント

もはや日本の食文化とされるラーメン。地獄だって天国だって、みんな大好きなんだもん。

ラーメンは地獄さえも幸せにしちゃうパワーがある!

(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館、あおぞら号)